

激にお休みを言つた夜は一夜中十分の安眠をなすものである。

子供がお早うお休みを言つた時には、両親たちもお早うお休みと受け答へをしてやることが必要である。それは子供の挨拶に對する禮儀で子供の人格を尊重する所以であるのみならず、両親の受け答を得て始めて活動の社會に仲間入りした心持になり、心も静まつて安眠に就くこともできるや

## 子供の不成績は皆私共監督者の不注意の致す處

うになるのである。殊に両親にお休みと受け答へをされた時には、大に安心して両親の膝下を離れて單身床に入ることが出来るのである。獨りで薄暗い寢室に行つても、両親は彼處で己れを守つて居て下さると思ふて、何の恐怖もなく何の不安もなく眠に就くことができるのである。であるから子供の朝夕の挨拶に對しては両親はやさしく快く受け答をしてやることは甚だ大切の事である。

東京女子高等師範學校教授 宮 川 壽 美

私の兄や姉は皆軍港に居ますので此の頃兄や姉の子供を預かる事となりましたが、子供の教育といふものは、なかくに六ヶしいものだと云ふことを始めて知りました。子供は監督をして居る人に依つてどうにでもなるもので、學校の成績や、行

儀や性格までも、監督の仕方に依つて、酷く違つて行くもので少し注意して、世話をしますと、楽しい面白いものだとも知りました。この經驗から、子供を育てるには、左の如き注意が必要だと思ひました。

## 衛生上の注意

第一は、食事であります。これは成るだけ滋養のある食物を十分に與へることが大切であります。量を過ぎない範圍で十分に與へて置きますと、どうしても間食をするやうになるばかりではなく、自然、意地きたなくなつて來ます。三度／＼の食事は勿論間食を與へるにしても、學校から歸つて來た時と云ふやうに、時間を定めて與へ其の食事の時は充分に愉快にさせます。もし不規律に食事前に多く間食させますと食事の時には僅しか戴きません。すると食後すぐ又間食をしたがる。かやうに致しますと腸胃が休まる時がありません。夫故食事の時に充分食べさせ間食も食事時にさまたげのないやうにしたきものです。

第二は、身體を清潔にして置く爲めに、毎日入浴させることが大切であります。宅では、長州風呂と云ふのをを用ゐて居りますが、これが一番輕便

で、この寒き時節に僅に廿分位で沸きます。每晚寝る前に入浴させ、直ぐにベルツ水のやうなひびの薬を顔や手足につけてやります。お湯を使はせると云ふことは、子供には勿論、十四五才の心身の變化する時代には殊に必要であらうと思ひます。入浴させますと夜中もよくねむり且つ身體の發育もよくなりかの所謂湯ぶとりになります。

第三は、爪を採つてやること、これはうっかりして居ますと、よく忘れる事で、氣がつかずに居ると何時の間にか長くなつて居るものであります。これは絶えず注意して、一週一二度位はきつと採つてやることにして、少しでも生へると氣持が悪いと感ぜさせるやうな習慣をつけて置き度と思ひます。これは何でもないうなれど親が子供の爪に氣のつく時は必ず萬事氣のつく時でまつくろの爪を長くさせて平氣で居るやうな時は必ず其子供の監督の行き届かぬ時であります。手の爪先から

足の爪先迄とはよく申た事でありませす。

### 智育上の注意

智育上の方面に就いても。幼稚園から中學に至るまで、十分に監督をする必要があらうと思ひます。或る人は、幼稚園や小學校の時代には健康に注意すれば他は放任して置いてもよろしいと云ふ人もありませうが、私はさやうに思ひません。幼稚園の子供にても、復習をさせると、させないことで、學校の成績が現に違つて來るのであります。然し其の方法を誤りますと、反つて悪い結果を來すものですから、それは十分考へて見る必要があらうと思ひます。

私の宅では、夕食後にさせることにして居ります。詰り家族全體が集まつて、夕食を濟ませた後に、其の場で幼稚園でおならひしてきた風車や、桃太郎の唱歌を歌はせ、聞く人はオルガンの口眞似などをして調子を合はせ、先づ姿勢を正しく立

たせ兩手足などもちやんとそろへ禮をさせて歌はせ一同の者は子供に注意して面白さうに愉快に聞いてやる。言ひ換へますと復習の監督をするのが目的であります。子供と一緒に同情を持つて遊んでやるのでありますが。これは獨り唱歌だけではなく、お話にしても同様で、總てかういふ習慣をつけますと、子供は遊びながら嬉しく、知らず／＼の中に復習もすれば、發音の稽古も、又、どんな話でも、自分の心持ちを發表する習慣ともなつて、子供の心を愉快にすることも出來、他の家族も、子供を中心として、夕食後の休む時間を樂しく過ごすことも出來ます。相當な時に大變御上手でしたねと云ふやうに賞めて、今日はこれで御休みにしませうと云つて止させます。

小學校に行く子供にでも、算術はどんなことでしたと云ふやうに子供と一緒に復習する心持ちになつて、僅か二十分か三十分か其の日／＼の學科

を聞いてやります。習字にしても、象劃などを、  
八ツ九ツ頃から教へる事が、早く發達するやうで  
あります。私は成長してから筆法を教へて戴きま  
した故幼い時から教へてやつたらさぞよからうと  
思ひ教へて見ました處割合によくわかりたけにな  
るやうであります。そして子供は習字の復習をさ  
せた時と、させて居ない時とは學校の成績に非  
常な差があります、少しうつかりしますとすぐ乙  
を取ります。なる程書は姓名を記するに足るとい  
ふやうなことは、この頃よく云はれて居るやうで  
すが、然し字の書けないと云ふことは、一生の損だ  
と思ひます。私は字がへたで誠に困つて居ります  
が、自分が生徒の答案を見て始めてつくづく字の  
きれいなときたないのとは大差があると思ひ  
ますかの如くに學校の答案にしても、事柄は十分  
知つて居ましても、字を知らない爲めに、それを  
十分に言ひ表すことが出来なかつたり書き方がま

ずかつたりする爲めに、何時でも十點や十五點は  
損をするものであります。又、大きくなつてから  
も、字をよくせない爲めに、書面の往復も無沙汰  
をするやうになつて來ます、又、職務上の報告な  
どもしないやうになりますから習字は小學時代に  
他の學科が忙しくならない前に一通り覚えさせて  
置く方が子供一生の爲めにならうと思ひます。

それでは、何時學科の復習をさせればよいかと  
申しますと、學校から歸つて來ておやつを食べて  
から又朝起きて頭のない時かがよろしう御座いま  
す御承知の通り、子供は朝早く目を醒しますから  
起きると直ぐに頭のない時に二十分程復習してや  
るやうにして居ります。さうすると、子供の方に  
も大變、勵みになつて來ます。

中學になつても尙更らの事で、中學の時代から  
は、勉強室を別に與へ、一二年の頃迄は自分が側  
について居て、勉強をさせるやうにしなければな

りませぬそれに自分達ばかり他の室で面白さうに遊んで話を居ますと、幾ら中學時代の子供でも、其處を離れて、自分の室へいつて勉強をするといふことは厭なものであります。其故勉強室を暖かくし自分も子供と勉強するやうな心になつてやらねばなりませぬかういふことを考へますと自分が一日家に居て、いろ／＼な世話をしたら、さぞ思ふやうな教育も出来やうと思ひます。けれども朝早く家を出て、歸りますと子供の休みかけて居ることもある位で御座いますから非常に残念に思ひます。これを考へると、母親は成るだけ、家を出ないやうにして子供の世話をすることが大切だと思ふのであります。

ところが、父親の酒を呑まれる家庭などでは、子供に先きお飯を喰べさせて、自分一人でチビリチビリ呑んで居る、お母さんは無暗と、子供に勉強をしないさいとか復習をしないさいとか言ふやうに、言

ひかけて居らるゝ家庭もよくあるやうですが、さう云ふ無理なし方をしましても、子供はごまかして迎も勉強するものではありません。子供を育てるにはどうしても、家族中が擧つて力を添へなければならぬものであります。私の預つて居る子供の内で、初め幼い時から預つた子供は、夕食後の復習を喜んで、唱歌を歌ひますけれども、中途から預つた子供は、お歌いなさいと云つても、はづかしがつてなかく歌ひません。それで、どうにかして歌ふやうにし度いと思ひまして、言ひ附けを聞く方の子供に先づ歌はせ、次に其の子供に、あの方はあの通り上手に歌はれるから、今度は、あなたの番です歌つて御覽なさいと申しますと、漸つと、耻しさうに歌ひます。其處を、大層上手に出来ました。これから段々上手になつておとうさまやおかあさまの處に歸つた時よろこんでいただきませうねとはげまし且つ賞めて置きますと、

次から段々よく歌ふやうになつて参ります。子供の言葉は注意さする事此外注意しなければならぬ事は小児の言葉づかひで御座います遊ぶ時の詞をはじめ相互の詞を一々注意して一々いひなほさせよき上品な詞をつかはせなければなりません。

### 精神教育

子供の精神教育としては、宗教教育が必要と存じます。と申しましても、單に宗教の形式を子供に強ふると云ふのではなく、詰り絶對善なる神の性格を子供の胸に宿らしめこれを一生の根本とし發達とするやうに育つると云ふことであります。私が預つて居る子供には宗教教育を施してもいいと云ふ許しを親から受けて居りますが、一つは私のやうな過の多い我儘もの獨りでは逆も大切な子供を預る力がありませんので、神様と一緒に預つて居たいと思ふからであります。日曜日にも午前は家で遊ばせ、午後からは日曜學校にやるやうにし

て居ります。すると知らず／＼の中に神様の話を聞きまして、それが長じて世の中へ出てからも、矢張り神を信じ之を根本とするやうになつて來ませうと思ひます。

自分の心に神様を根本とする事が出來ましたなら常に自分の足らざるを知り從つて謙遜な心持ちも起つて來ます。又かやうな人は自分の境遇を支配して行くことも出來やうと思ひます。

ある人は宗教教育は十八九になつてから與へればいいと云はるゝ人もありますが、私は子供の時代から自然と教へ込むことが大切と思ひます。なせなれば宗教を信ずるには三つの要素即ち。第一親切熱心な教師第二其教を受け入るゝ謙遜なる心第三長時間教を聽かなければならぬ。扱て子供の時代には、純な心持ちで人の言ふことを聞き入れるものであります。二は一度や二度聞いたりではわかりませぬが幼き時より永く聞いて居ります

と自然の中に判つて來ますそして第一の親切なる教師にはと申せば。

子供に宗教心を教へ込むには、先づ母親が神を信する人になることが大切であらうと思ひます。母が教師になつて、親切に教へてやりますと、子供は同じことを幾度でも聞くものでありますから、學校を卒業する迄には、立派な人格となり親或は監督者の許を離れても神様を手本とするやうな習慣がつくやうになり如何なる境遇にも打勝つ

## 子供の癖に就て

### (五)表情に表裏のある子供

不斷子供の表情に注意して能く指導することは教育上最大切なることは申すまでもありません、子供の中には尊長其の他目上の人の前には

やうになるでありませんやうに兎に角私の經驗によりますと小兒のわるくなるのもよくなるのも皆私共監督者の品性及び注意不注意によるものと存します私のついそがしい爲例へば復習させる事を怠りますとすぐ成績に影響するのを見ても分ります。かわゆい子供を育つる人は無教育な無責任な人に預けて安心して外出などあんまりできない事とつくづく思ひます。

本郷誠之小學校長 杉 浦 恂 太 郎

極めて温順らしく殊勝を装ひ同輩又は目下の者に勝手我儘な振舞をして兎角表情に表裏のある子供があります、之を矯正せず其の儘にして成長させますと後には信用の置けぬ忌むべき人格となり